

入院のご案内

____月 ____日 ()

____時 ____分です



ご都合で入院日、入院時間の変更がございましたら
お早めに下記代表番号までご連絡ください。

TEL 072-840-2641



独立行政法人 地域医療機能推進機構
星ヶ丘医療センター

【医療理念】

地域の皆様に心のこもった
良質な医療を提供する

【基本方針】

1. 患者さんの視点に立った質の高い医療を提供する
2. 全職員の専門性を集結したチーム医療を行う
3. 急性期医療・リハビリテーションを通して地域包括ケアの一翼を担う
4. 医療安全・院内感染防止を推進する
5. 地域に求められる優れた医療人を育成する
6. 地域の皆様に医療や健康増進の情報を発信する

【看護の理念】

- 「心と心がふれあう看護」をめざします
1. 患者さんが安心して療養できる看護を行います
 2. 患者さんの生命・人格・人権を尊重した看護を行います
 3. 地域の皆様の健康を支える看護を行います

★ 病院のめざすもの

- ・私たちは皆様の人権を尊重し、思いやりの心を持った医療をめざし、最善の努力をします。
- ・病名、病状、検査、治療、予後や看護についてわかりやすい説明を行います。
- ・皆様のプライバシーの保護と尊重に心がけます。
- ・皆様の医療に関する知る権利と自己決定権を尊重します。
- ・納得して検査や治療を受けていただけるよう心がけます。
- ・患者さんの医療に関する権利を守り発展させるため、皆様方も医療従事者と力を合わせ、医療に参加し、協力してくださるようお願いします。
- ・私たちは、患者さんと信頼関係で結ばれた医療を行う事をめざし、患者さんの権利と責務について明記し、その実現にむけて皆様とともに努力をします。

CONTENTS

01	医療理念
02	患者さんの権利と責務
03	個人情報の取り扱いについて
04	当院は手術・治療情報データベース事業(NCD等)に参加しています。
05	入院の手続き
06	入院の準備
07	入院中の過ごし方
09	患者安全対策6か条
10	安全に治療を受けていただくための、病院からのお願い
12	せん妄、転倒・転落の予防と対策について
13	患者サポート体制について
15	院内施設の利用
16	料金のお支払い
19	病院配置図 駐車場のご利用について
20	病院案内図
21	各階案内
22	アクセス

患者さんへのお願い

当院は、明日の医療を担う人材を育成する教育・研究機関として、医学生、看護学生、薬学生、放射線技術科学生、理学療法科学生、救急救命士、看護師特定行為等の臨床研修実習を行っております。実習は、医師・看護師等の指導・監督のもと行われますので、ご理解、ご協力をお願いします。

患者さんの権利と責務



患者さんの権利

1

安全で良質な医療を 公平に受ける権利

いかなることにも差別されことなく、安全で良質な医療を公平に受ける権利があります。

患者さんの権利

2

人格を尊重される権利

いかなる状態にあっても人格を尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります。

患者さんの権利

3

説明を受ける権利

病気や検査、治療などについて、わかりやすい言葉や方法で理解・納得できる十分な説明と情報提供を受ける権利があります。

患者さんの権利

4

自己決定の権利

自らの意志に基づいて、検査や治療などの医療行為に同意し、選択または拒否する権利があります。

患者さんの権利

5

選択の自由

医師や病院を自由に選択する権利があります。医療のどの段階においても、他の医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。

患者さんの権利

6

知る権利

自分に行われた医療について、診療記録の開示や費用などそのすべてを知る権利があります。医学知識や医療制度、福祉や社会保障制度などを知る権利があります。

※セカンドオピニオンを希望される場合は、
担当医・看護師・医療相談室へお申し出ください。

患者さんの権利

7

プライバシー保護の権利

診療の過程で得られた個人情報が保護され、第三者に開示されない権利があります。また、診療に関わりのない私的な事に干渉されない権利があります。

患者さんの責務

- ★医師または看護師にできるだけ正確な健康や疾病に関する情報を提供してください。
- ★医療行為に関する質問は、十分納得できるまで行ってください。
- ★適切な医療行為を受けるために、病院の定めた規則を守ってください。



個人情報取り扱いについて

◆個人情報の利用目的

当院では、患者さんの個人情報を以下の目的で利用させていただきます。利用目的のうち同意がたい事項等がある場合は、お申し出ください。これら以外の目的で利用させていただく場合には、改めて患者さんから同意をいただきます。

1. 院内での利用

- | | |
|------------------|----------------------|
| ①患者さんに提供する医療サービス | ⑥患者さんへの医療サービスの向上 |
| ②医療保険事務 | ⑦院内医療実習への協力 |
| ③入退院等の病棟管理 | ⑧医療の質の向上を目的とした院内症例研究 |
| ④会計・経理 | ⑨その他、患者さんに係る管理運営業務 |
| ⑤医療事故等の報告 | |

2. 院外への情報提供としての利用

- ①他の病院、診療所、助産院、薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業者等との連携
- ②他の医療機関等からの照会への回答
- ③患者さんの診療のため、外部の医師等の意見・助言を求める場合
- ④検体検査業務等の業務委託
- ⑤ご家族等への病状説明
- ⑥保険事務の委託
- ⑦審査支払機関へのレセプトの提供
- ⑧審査支払機関または保険者からの照会への回答
- ⑨事業者等から委託を受けた健康診断に係る、事業者等へのその結果通知
- ⑩医師賠償責任保険等に係る医療に関する専門の団体や保険会社等への相談または届出等
- ⑪その他、患者さんへの医療保険事務に関する利用
- ⑫症例報告を含む学会発表や学術誌発表などの研究や医薬品等の調査のため
ただし、匿名化したうえでの利用であり、事例の内容から十分な匿名化が困難な場合は、その利用については原則として本人の同意を得ます
- ⑬病理検体は、個人の特定ができない範囲において、精度管理、医学教育あるいは症例報告に使用することがあります

3. その他の利用

- ①医療・介護サービスや業務の維持・改善のための基礎資料
- ②外部監査機関への情報提供
- ③公的機関より依頼される調査等
- ④採血、採尿された検体は、個人の特定ができない範囲において、検査機器・検査試薬の導入時の検討目的に使用することがあります

個人情報の開示・訂正・利用停止

個人情報の開示・訂正・利用停止につきましても「個人情報の保護に関する法律」の規定に従って進めております。ご不明な点は、「医療相談室」へお尋ねください。
なお、カルテ開示には必要な手続きがありますので、「医事課」へお申し出ください。

当院は手術・ 治療情報データベース事業(NCD等) に参加しています。

当院の以下の診療科(脳神経外科・整形外科・外科・消化器内科・形成外科・循環器内科・泌尿器科)では、一般社団法人 National Clinical Database(NCD)など、各診療科の専門性に合わせたデータベース事業に参加しています。

この事業は、日本全国の手術・治療情報を登録し、集計・分析することで医療の質の向上に役立て、患者さんに最善の医療を提供することを目指しており、全国の多くの病院が参加しております。ご理解の上、以下の内容に関してご了承いただけますようお願い申し上げます。

1. データベース事業に登録する情報の内容

患者さんに行われた手術と治療に関する情報、手術や治療の効果やリスクを検証するための情報(年齢・身長・体重等)を氏名とは関係のないIDを用いて登録します。

2. 登録する情報の管理・結果の公表

担当科および各データベース事業は、情報の取り扱いや安全管理に関する法令や取り決めに遵守しています。データの公開にあたっては、各データベース事業者が承認した情報のみが集計データとして公表されます。個人が特定されることはありません。

なお、ご質問がある場合は各担当科の医師にお伝えください。

また、データベース事業についての一般的な情報を知りたい方は下記のホームページをご参考ください。

一般社団法人 National Clinical Database(NCD)ホームページ
<https://www.ncd.or.jp/>

2022年9月1日

JCHO 星ヶ丘医療センター 医の倫理委員会

入院の手続き

1 入院の申し込み

医師より入院の許可を受けた患者さんは、本館1階の医事課入院受付で手続きをしてください。

交通事故および労働災害保険にて入院される場合は、入院受付に必ず申し出てください。

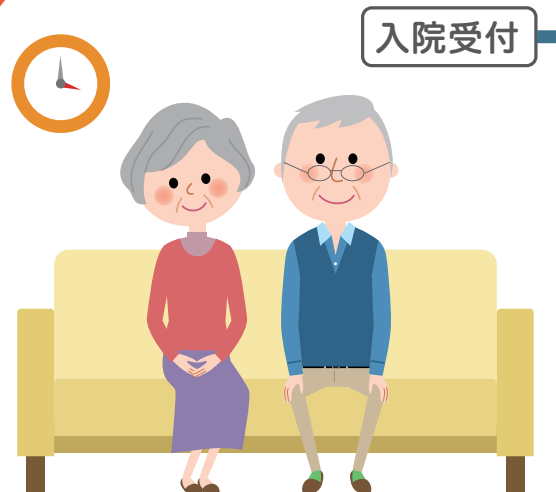
入院日のお手続きをさせていただきます。その際に入院日と時間をお伝えします。



2 入院当日

入院時間までに本館1階の医事課入院受付にお越しください。

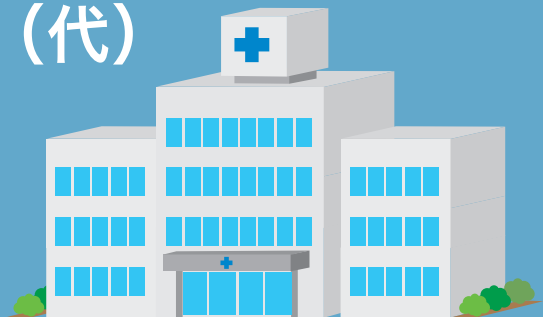
交通事情等で遅れる場合は、ご連絡をお願いします。



TEL.072-840-2641 (代)
医事課入院受付

病室・病棟が変更になる場合がありますので、ご理解とご協力をお願いします。

※入院患者さんの入院中の駐車はご遠慮ください



入院の準備

入院に必要なもの

紛失などの原因になりますので、持ち物には氏名をお書きください。

書類 など

- ☐健康保険証 (マイナンバーカード)
- ☐入院申込書
- ☐検査の予約票
- ☐医療証
- ☐身元引受書
- ☐印鑑
- ☐診察券
- ☐お薬手帳(お持ちの方)
- ☐介護保険証(お持ちの方)



日用品

- ☐くつ(滑りにくい・音がしないもの)※スリッパ禁止
- ☐洗面用具(歯ブラシ・石けん・電気シェーバーなど)
- ☐洗髪用具(くし・ブラシ・シャンプー・リンス)
- ☐ティッシュペーパー

スリッパ・クロックス
禁止



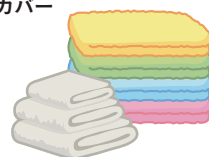
食事道具

- ☐コップ(割れない素材のもの)
- ☐スプーン(食事毎には割り箸と紙おしぼりをご用意しています)



衣類

- ☐タオル ☐バスタオル ☐下着 ※必要時、オムツ・オムツカバー
- ☐病衣(前開き等の治療や看護がスムーズに受けることができるもので、清潔なもの)



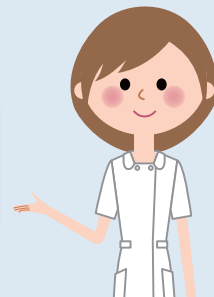
その他

- ☐現在使用中のお薬 (飲み薬・点眼薬・ぬり薬・座薬・貼り薬・注射薬など)
- ☐ナイロン袋 ☐筆記用具
- ☐その他、治療に必要な物品

注意

- ▶ 貴重品および多額の現金は、お持ちにならないでください。万一、盗難や紛失が生じた際の責任は負いかねます。
- ▶ はさみやナイフなど、危険物を持ち込まないようにしてください。
- ▶ 寝具の持ち込みは、ご遠慮ください。

入院中の過ごし方



食事

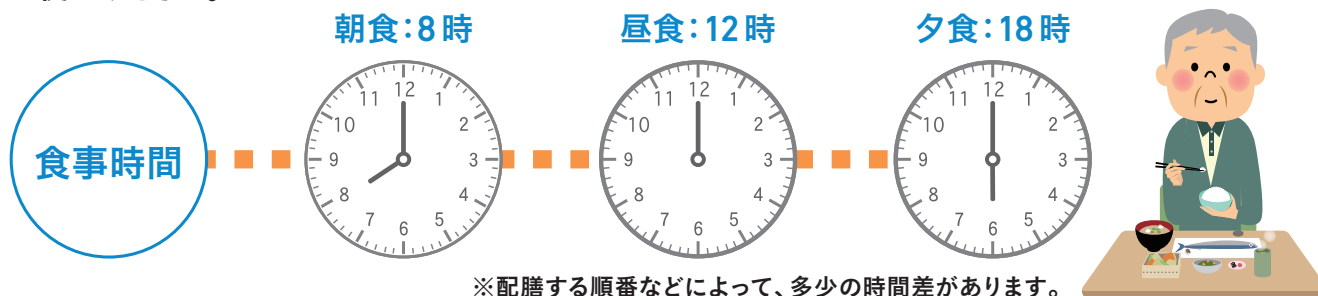
医師の処方により管理栄養士が、患者さんの病状や状態に合わせた食事をご用意します。食物アレルギーにも対応しております。

病院食以外の飲食は、治療の妨げとなることもありますのでご相談ください。

病状によっては、治療食や絶食の患者さんもいらっしゃいます。食中毒防止も含めて、お部屋内で食べ物を配らないようにお願いします。食事は、1食 490円(標準負担額)です。

お茶や飲料水は各自でご用意ください。

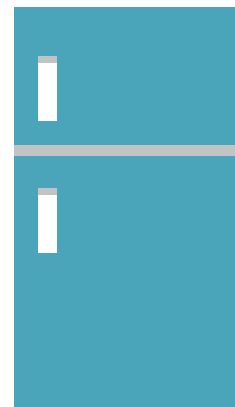
病棟には、お茶、飲料水サーバーがございますので、ご自由にお使いください。



テレビ・冷蔵庫

テレビ・冷蔵庫のご利用を希望される患者さんは、「テレビ・冷蔵庫サービス利用申込書」の注意事項をご理解の上、必要事項をご記入いただき、各病棟スタッフステーションにご提出ください。料金は、1日385円(税込)です。

※テレビ視聴の際は、イヤホンを必ず着用してください。(イヤホンは各自でご用意ください。1階コンビニでも販売しています。)



利用料金
1日 ▶ 385円(税込)

電気製品

ポータブル DVD プレイヤーやゲーム機は、イヤホンをするなどして、他の患者さんの迷惑にならないように長時間の使用はお止めください。電気ポットや暖房器具などの持ち込みはできません。



洗たく

全自動洗濯機・乾燥機を各病棟に設置しています。100円硬貨でご利用ください。※洗剤は各自でご用意ください。1階コンビニでも販売しています。

洗濯機 ▶ 100円(税込) (1工程)
乾燥機 ▶ 100円(税込) (30分)

消灯時間

21時30分に消灯します。消灯後の照明は、ベッドランプをお使いください。また、消灯後のテレビ鑑賞は、他の患者さんのご迷惑になりますのでご遠慮ください。

21時30分消灯

入浴

事前に主治医の許可が必要です。主治医または看護師にお申し出ください。利用時間は、9時から17時です。利用方法や曜日など、詳しくは看護師にお尋ねください。



外出・外泊

事前に主治医の許可が必要となります。ナースステーションにお申し出いただき、所定の届出用紙にご記入ください。また、院内でも入院病棟から出られる際は、看護師に行き先等をお伝えください。

フリーWiFi

デイルームや1階のコンビニ前のロビーでは、院内専用のフリーWiFiが使用できます。

8時～21時30分
ネットワーク名：
hoshigaoka-freeinternet



携帯電話

病室内での使用は、他の患者さんの迷惑になりますのでご遠慮ください。携帯電話での通話・メール・インターネット接続などは、必ず決められた使用可能場所をお願いします。パソコンでのメール・インターネット接続も使用可能場所をお願いします。使用する際は、周囲の方の迷惑にならないようにご注意ください。

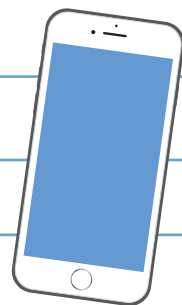
使用できる場所

病棟 デイルーム、個室

通話禁止エリア

病棟 病室 病棟の廊下

その他 1階 外来エリア、放射線撮影室前、健康管理センター、超音波検査室、内視鏡センター
2階 手術室、HCU
地下1階 救急受付、CT・MRI待合



注意

- ▶ 私物の管理は、自己責任でお願いします。盗難、紛失、破損等の責任は負いかねます。
- ▶ スマートフォン(携帯)等で院内での撮影・録音・動画撮影は原則禁止です。

【患者参加の医療安全のために】

患者さんやご家族のみなさまには、医療の安全・安心のために安全対策への参加にご協力をお願いしています。

次に示す『患者安全対策 6か条』をお読みください。

患者安全対策6か条

1 分からないことがあれば、遠慮なく質問してください 説明は、できるだけご家族と一緒に聞いてください

診断・検査・治療・投薬などで分からないことがあれば、医師または看護師等の医療従事者にお尋ねください。
質問したことを紙に書いて、医師または看護師に渡していただいても結構です。
医師からの説明は患者さんお一人ではなく、できるだけご家族と一緒に聞きましょう。
担当医からまとまった説明を希望されるときは、日時を調整しますので、看護師にお伝えください。
ただし、ご家族が別々の日時に来院し、それぞれ説明を求めることはお控えください。

2 意思表示は、明確にしてください

救命医療が最優先されます。その中で患者さん自身の意思表示が明確で有効な場合は、その意思を尊重します。ご本人の意思表示が不明な時は、ご家族の希望をお聞きます。
輸血に関すること、宗教的なこと、ドナーカード、人工呼吸器の使用など、ご本人の意思表示がある場合は、はっきりとお伝えください。

3 患者さんのお名前の確認にご協力ください

点滴や薬をお渡しするときは、口頭・リストバンド・認証の機械でお名前を確認しています。点滴・薬・輸血の事故を防ぐため、患者さんに以下のご協力をお願いします。

- ・本人確認のため、患者さんご自身にお名前を名乗っていただく
- ・リストバンドや点滴ボトルに表示されているお名前を確認していただく
- ・輸血のときは、お名前と血液型を確認していただく

4 普段と違う症状があるときは、遠慮なく医師や看護師にお伝えください

病態や薬の適用量を考慮して、できる限りの対応をさせていただきます。

5 院内感染防止のご協力をお願いします

医療者は、院内感染防止対策マニュアルに従って医療行為をしています。
院内には、病状により感染しやすい状態の患者さんがいらっしゃいますので、手洗い・手指消毒・マスク着用・咳エチケットなどを行ってください。
また、せき・発熱・下痢・嘔吐などの症状がある方は、面会をご遠慮ください。

6 防犯対策にご協力をお願いします

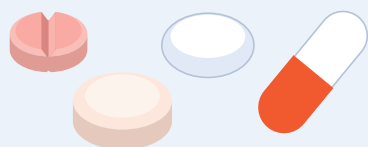
金品の持参は必要最低限とし、入院時の貴重品は必ずセーフティボックスに入れ、鍵を身体より離さないようにしてください。
病院内に不審者がいたら、病院職員にお知らせください。

安全に治療を受けて
いただくための、

病院からのお願い

お薬情報の提供

現在使用中のお薬、お薬手帳・薬剤情報提供用紙は、治療をするうえで大切な情報ですので、必ずご持参ください。お薬とは、飲み薬、点眼薬・ぬり薬・坐薬・貼り薬などの外用薬や注射薬などです。また、サプリメントも含まれます。



アレルギーの申告

食物・薬剤アレルギーやその他、金属・テープ類・アルコール消毒などのアレルギー反応がある場合は、必ずお知らせください。



注 災害時等について

火災、地震などの災害、患者さんの急変、院内暴力発生時は夜間、早朝についても緊急時の全館放送をする場合があります。ご理解いただきますようお願いいたします。

万一、非常事態が生じた場合は、職員の避難誘導指示に従ってください。

病状説明等について

診断・検査・治療・投薬などでわからないことがあれば、医師または看護師等の医療従事者に、遠慮なくお尋ねください。また、医師からの説明は、患者さんお一人ではなく、できるだけご家族と一緒に聞きください。平日の9時～17時の時間帯で、ご家族と日程を調整したうえで、看護師にお伝えください。

貴重品の管理

- ・貴重品および多額の現金は、お持ちにならないでください。
万一、盗難や紛失が生じた際の責任は負いかねます。

- ・はさみやナイフなど、危険物を持ち込まないようにしてください。



- ・私物の管理は、自己責任でお願いします。盗難、紛失、破損等の責任は負いかねます。

- ・スマートフォン(携帯)等で院内での撮影・録音・動画撮影は原則禁止です。



入院中に守っていただきたいこと



所在確認

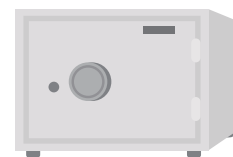
意図せず無断で病院を離れた場合は、病院での捜索に限界がありますので、警察に捜索を依頼する場合があります。



防犯対策について

金品の持参は必要最低限とし、入院時の貴重品は必ずセーフティボックスに入れ、鍵を体より離さないようにしてください。病院内で不審者を見かけたら、職員にお知らせください。万一、盗難があっても、病院は責任を負いかねます。

防犯



強制退院の措置

次のような場合は、強制退院の措置をとらせていただくことがあります。

- × 医師や看護師の指示に従っていただけないとき
- × 治療に専念する意思がないと判断されたとき
- × 暴言・暴力・セクシャルハラスメント
- × 飲酒（ノンアルコール飲料も含む）・喫煙（敷地内は、全面禁煙。 新型タバコ・電子タバコ・水タバコも禁止）
- × 無断外出・外泊
- × 他の患者さんの治療の妨げとなる行為

ネーム・リストバンドの着用

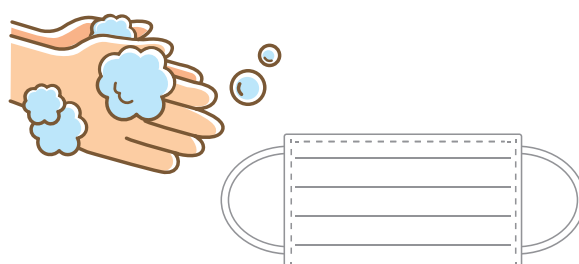
救急外来受診時・入院中は「患者さんの取り違い防止」のために着用をお願いしております。点滴やお薬をお渡しする時、手術時、検査時は、口頭・リストバンド認証の機械でお名前を確認しています。本人確認のため、患者さんご自身にお名前を名乗っていただきますのでご協力をお願いいたします。



感染対策について

- ・ 病室を離れる前後や食事の前後にはこまめな手洗い、手指消毒をお願いします。
- ・ 院内では基本的にマスク着用をお願いします。
- ・ 咳・発熱・下痢・嘔吐などの症状がある方は面会をお控えください。

周囲の感染状況により、面会制限をさせていただきます場合があります。



もう せん妄、転倒・転落の予防と対策について

▶せん妄

せん妄とは、脱水や発熱、貧血、感染、薬物などの身体的な負担がかかったり、生活環境の急激な変化により、脳の機能が一過性に乱れるという、入院された患者さんによく見られる症状です。一見すると認知症と間違われやすい症状ですが、異なる病気です。



■せん妄になりやすい人

高齢の方

認知症の方、物忘れが目立ってきた方

脳梗塞や脳出血になったことがある方

アルコールをたくさん飲む習慣のある方

以前にせん妄になったことがある方

手術を受けた方

せん妄の症状とは

- ・意識がぼんやりとしている、もうろうとして話のつじつまが合わない
- ・時間の感覚がわからない、何月何日かわからない、どこにいるかわからない、家族のことが認識できない
- ・治療をしていることを忘れて、点滴や体に入っているチューブを自分で抜いてしまう
- ・怒りやすくなり、興奮する
- ・「見えないものがみえる」など、非現実的なことを言う
- ・夜、なかなか眠れず、昼間に寝てしまう
- ・家に帰ろうとする、行動に制止がきかない

患者さんにご家族へのお願い

- ・時間の感覚がわかるように、時計やカレンダーを近くにおいて、日時の確認をする
- ・普段使用している眼鏡や補聴器を身につける
- ・痛みや便秘などの苦痛症状など気になっている症状は、早めに医療者に相談する
- ・ハサミやナイフ等の刃物の病院への持ち込みは、最小限にする(せん妄症状があれば危険物はお持ち帰りいただきます)
- ・つじつまの合わない内容であっても、ご家族は患者さんの言うことを否定せず、安心できるような声かけをする

せん妄の治療について

せん妄は、身体的な負担が原因で脳の機能が乱れているので、まずは身体の問題を取り除くことが治療の基本となります。これに加えて、脳の機能の乱れを改善するお薬の投与や、患者さんが安心できる環境の調整を行います。どうしても安全が守れない場合は、ご家族の来院のご依頼や、必要最低限の行動抑制対策をとらせていただくこともあります。ご理解とご協力をお願いいたします。

▶転倒・転落について

自宅との生活様式の違い、治療による薬物の影響、ベッドに寝ている時間が多くなることによる筋力の低下等から、特に高齢の方は、ふらつきによる転倒、転落の危険性が高まります。

転倒・転落を防ぐために

慣れない環境での生活は、ベッドからの転落や、病室・廊下などでの転倒につながる場合があります。また、お子様がご入院の際は、ベッド柵を必ず上まで上げてお過ごしく下さい。履物はすべりにくいもの(かかとのあるくつ)を選び、スリッパはご遠慮ください。なお、杖を使われている場合はご持参ください。また、ベット周りの整理整頓を心がけいただき、持ち込まれる荷物は最小限となるようご協力をお願いします。自宅での生活の情報をお知らせください。



患者サポート体制について



入院中の患者さんやそのご家族が、退院後も在宅での治療を継続し安心して生活できるように、院内スタッフや地域の医療機関・介護施設・居宅介護事業所と連携して支援します。現在受けているサービスの見直しなども相談をお受けしています。



福祉相談室

入院費の支払いや生活費などの経済的なこと、退院後の生活や家庭・学校・職場に関する心配事、福祉サービスや施設等の利用についてご相談ください。



退院後の生活
入院費 **不安** 生活費
家庭・学校・職場

相談
時間

月～金曜日9時から17時まで
(土曜・日曜・祝祭日・年末年始を除く)

ご予約が必要です。

本館1階「福祉相談室」までお越しください

訪問看護ステーション

退院後、継続して通院治療される患者さんで、枚方市・交野市在住の方を対象に自宅での療養生活への支援を行います。希望される方は、主治医または看護師・ケアマネージャーにご相談ください。

訪問看護の内容 ※利用料金が発生します

- 体温・血圧・脈拍の測定や身体状況の観察
- 医療処置(医療機器やチューブ・カテーテルの管理、傷の処置)
- 病状や介護へのアドバイス
- 日常生活の援助



医療相談室・がん相談支援センター・脳卒中相談窓口

病気に関する不安や悩み、職員の対応に関することなど、お気軽にご相談ください。

がん支援センターでは、患者さんやご家族が、がんの治療や療養上で生じる不安や悩み等、がん医療に関わる質問や相談に対応しています。がん治療や脳卒中治療に詳しい看護師や生活全般の相談ができる医療ソーシャルワーカー等の専門職が相談をお受けします。

相談
時間

医療相談室・脳卒中相談窓口

月～金曜日 8時30分から17時15分まで
がん相談支援センター

月～金曜日 9時から17時まで
(土曜・日曜・祝祭日・年末年始を除く)

本館1階「医療相談室・がん相談支援センター」までお越しいただくか、お電話でお問い合わせください。
当日又は後日予約にて相談をお受けいたします。

TEL.072-840-2641 (代表)

医療チーム

それぞれの専門分野を活かして対象となる患者さんを多職種メンバーで支援します。早期回復、退院にむけて、入院中には様々なチームが関わらせていただきます。

★ 褥瘡対策チーム

主に褥瘡予防、褥瘡ケアに対してサポートします

主なメンバー

医師、理学療法士、皮膚・排泄ケア認定看護師、管理栄養士、特定行為研修修了看護師、薬剤師



★ 栄養サポートチーム

適切な栄養管理方法の提案や管理についてサポートします

主なメンバー

医師、管理栄養士、摂食嚥下障害認定看護師、薬剤師、特定行為研修修了看護師

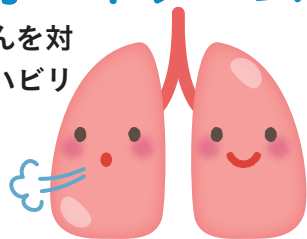


★ 呼吸療法サポートチーム

呼吸に問題を抱えた患者さんを対象に、医療機器の導入やリハビリなどについてサポートします

主なメンバー

医師、集中ケア認定看護師、理学療法士、特定行為研修修了看護師



★ 摂食嚥下支援チーム

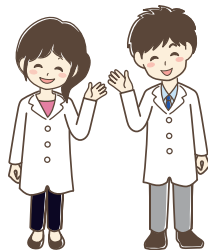
生活の質に大きく影響を与える「食べる」行為を大切に、リハビリや栄養等の側面からサポートします

主なメンバー

医師、摂食嚥下障害認定看護師、理学療法士、言語聴覚士、脳卒中看護認定看護師、管理栄養士



「看護師の特定行為研修」の実習にご協力ください



当院は、厚生労働省「特定行為に係る看護師の研修制度」の研修実施病院です。

チーム医療のキーパーソンとして、特定行為研修を修了した看護師はよりタイムリーな対応が可能になります。

★ がんサポートチーム

がんの治療中から、痛みなどの症状を緩和したり、精神的なサポートを一定の資格を持つ専門チームで対応します

SUPPORT



主なメンバー

医師、がん性疼痛認定看護師、放射線看護・緩和ケア認定看護師、薬剤師、臨床心理士、管理栄養士

★ 感染対策チーム

感染症の予防や対策の教育や、適切な薬剤使用の提案などについてサポートします

主なメンバー

医師、感染管理認定看護師、薬剤師、臨床検査技師



★ 認知症ケアチーム

入院・治療による生活環境の変化による、認知症の行動・心理症状の悪化の予防、安心して療養できる環境調整を行います

主なメンバー

医師、認知症看護認定看護師、薬剤師、作業療法士



★ 排尿自立支援チーム

排尿障害のある患者さんに対して、安心・安全で納得できる排尿管理をサポートします

主なメンバー

医師、皮膚・排泄ケア認定看護師、脳卒中看護認定看護師、理学療法士、作業療法士



院内施設の利用

面会時間

一般病棟

■ 平日 13時～20時 ■ 休日 13時～20時

小児病棟

■ 全日 15時～20時

HCU・SCU

■ 全日 13時～20時

正面玄関を利用できる時間は、平日：8時00分から17時まで、それ以外の時間帯で面会の許可があるときは、地下1階夜間出入口をご利用ください。

手続きが必要！

面会の際は、ナースステーションにお申し出いただき
以下の内容をお守りください。

- 病棟へのお子さん連れの面会は、なるべくお避けください。
- 乳幼児・小中学生の小児病棟(3階西病棟)への入室はお断りしています。
- せき・発熱・下痢・嘔吐などの症状がある方は、面会をご遠慮ください。
- 飲食物、医薬品の持ち込みは、治療に影響がありますのでご相談ください。
- 花や観葉植物などの持ち込みは、感染とアレルギーの面からお断りしております。
- 動物等はお連れにならないでください。

コンビニ

場所 本館1階 医療相談室前

時間 7時～22時
土日祝は7時～20時

移動図書館

枚方市立図書館のご協力により、移動図書館を設けています。患者さんだけでなくご家族も利用できます。本の貸し出しには、住所確認できるものが必要です。

場所 新館1階と
1階体育館の渡り廊下

時間 隔週の金曜日 14時から15時



院内学級

桜丘北小学校・桜丘中学校の分校があります。授業を希望される小中学生の入院患者さんは、主治医にお申し出ください。



料金のお支払い

▶お支払いについて

入院費の請求『診療費のお知らせ』を受け取られましたら、**本館 1階「診療費支払機」**または、**フロント「⑦番支払窓口」**にてお支払いください。

前月より継続して入院されている場合は、毎月 1 ヶ月分をまとめて翌月の 10 日から 15 日頃に請求させていただきます。

月末までに退院される方は、退院時に請求させていただきます。

料金についてご不明な点や、お支払いについてのご相談は、「医事課入院係」または「福祉相談室」にお気軽にご相談ください。(平日 9 時から 17 時)

診療費のお知らせ

お支払い方法

『診療費のお知らせ』をお持ちください。現金またはクレジットカード(一括払い)でのお支払いが可能です。お取り扱いしているカード会社は、⑦番支払窓口に掲示しています。



	取扱時間
診療費支払機	① 平日……………8 時 30 分から 20 時 ② 土曜・日曜・祝祭日…8 時 30 分から 17 時
⑦番支払窓口	① 平日のみ……………9 時から 17 時



1F

▶ 医療費の軽減について

70歳未満の方

所定の手続きをすることにより、月毎の入院費が一定の限度額に軽減できる場合があります。加入されている**医療保険の保険者**に申請を行い、保険者から発行される『**限度額適用認定証**』を入院時に医事課へ提示することで利用できますので、入院前に手続きをしてください。各保険者により申請方法が異なるため、詳しくは加入の保険者へお問い合わせください。医療機関の窓口で支払う限度額は、患者さんの所得区分に応じて異なります。なお、食事代金、病衣代金や差額ベッド代などの費用は、限度額の適用対象外です。



医療保険の保険者

健康保険組合、協会けんぽ(全国健康保険協会管掌健康保険)または市町村(国民健康保険)など

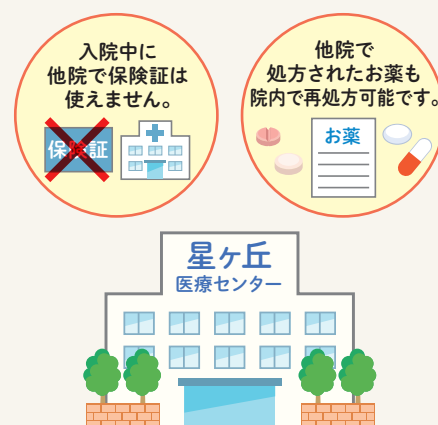
70歳以上の方

所得区分により、月額自己負担限度額が決まっています。ただし、3割負担の方や非課税世帯の方は所定の手続きにより自己負担限度額が軽減できる場合があります。加入されている**医療保険の保険者**より発行される『**限度額適用認定証**』をご提示ください。ご不明な点がございましたら、1階医事課入院係までお問い合わせください。

▶ 入院中の他院受診・お薬処方について

当院にご入院中に他病院へ受診された場合、医療保険制度上、健康保険証は利用できず、原則患者さんの全額自己負担となります。ご家族が他院へ出向き、お薬などの処方を受けられる場合も同様で、**全額自己負担**となります。

ご入院されてから、他院へかかる場合は必ず事前に病棟看護師、または1階**医事課入院係**へお声かけください。なお、他院の予約診療等については日程の変更をお願いします。入院中に持参薬がなくなった場合は、**院内処方**で対応させていただきます。



▶ 入院医療費の算定方式

当院は、包括医療費支払い制度(DPC制度)を適用しています。

DPC制度とは、病名や手術・検査・処置等の医療行為に応じて定められた1日あたりの定額点数を基本として計算する方式です。

しかし、全ての入院患者さんがDPC制度の対象となるわけではなく、病状・治療方針・病棟等により、診療行為毎に計算する出来高方式での計算となる場合もあります。

ご不明な点は、1階**医事課入院係**までお問い合わせください。(平日9時から17時)

出来高方式

入院基本料	
レントゲン	
投薬	注射
検査	処置
+	
手術	リハビリ
一部の検査・処置	
食事	

出来高評価

包括評価方式(DPC)

〈1日あたり定額〉	
入院基本料	
レントゲン・投薬	
注射・検査・処置	
+	
手術	リハビリ
一部の検査・処置	
食事	

包括評価

出来高評価

▶ 室料について

個室使用を希望された場合、入院日から退院日までの日数分に差額料金が発生します。

室料は、月末締めのご請求で、入院治療費と一緒に請求させていただきます。

		差額室料 (税込)	部屋数	トイレ	ユニット バス	洗面台	キッチン	冷蔵庫	電子 レンジ	整理 ダンス	応援 セット	ソファー ベット
個室	7階、新3	17,600円	2	●	●	●	●	●	● (新3のみ)	●	●	
	第2病棟 (たいよう)	11,550円	4	●		●		●		●		●
	本館病棟	8,800円	52			●		●				
	3西、7階	7,700円	3					●				
2人 部屋	第2病棟 (たいよう)	4,400円	2					●				●

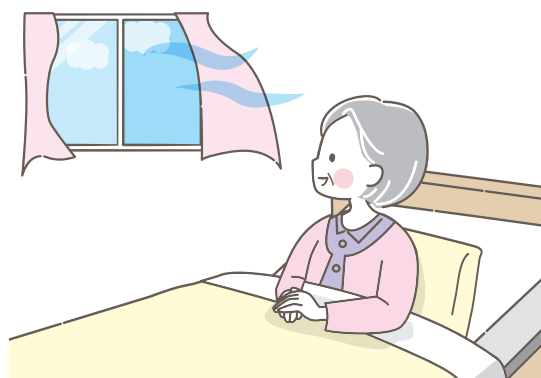
入院費用のご案内

当院での入院治療につきましては、
3割負担の方で

1日平均約¥10,000～25,000

かかっております。(手術等の費用を除く)

(3階西、HCU、SCU: 5階東の500号室、新館1階、
第2病棟、6階病棟は専門病棟又は専門病室に
あたり、他の病棟とは異なり別途加算料金の設
定があります。)



患者様のご負担金につきましては、入院パンフレットに記載がある【限度額
適用認定証】の使用や、公費手続きで軽減できる可能性が有ります。

負担金額や請求についての詳しい説明は医事課入院係でお受け致します
ので、ご希望の方はお申し出ください。

※入院係事務員は月～金曜日(祝日除く)の午前9時～午後5時まで在室しております。

星ヶ丘医療センター・医事課

◆ 病院配置図



◆ 駐車場の ご利用について

対象	ご利用料金
外来受診の方	最初の2時間無料 以降1時間100円 当日24時まで最大料金300円
面会の方	最初の1時間まで無料 入場より2時間まで200円 以降1時間100円 当日24時まで最大料金300円
一般の方 業者の方	無料時間はありません 入場より1時間600円 当日24時まで最大料金3,000円
入院中の方	駐車場のご利用はご遠慮ください。
健康診断を受診される方	無料

外来受診の方、面会の方、
健康診断を受診される方



院内まで駐車券を
お持ちください

割引処理をいたします

※入退院日のご家族による送迎は、無料となります。

※お車で来院されてそのまま緊急入院となった患者さんの場合、
入場より48時間無料の割引処理を行います。

▶ その他

- ・駐車可能な車の台数は509台です。
- ・第4駐車場に駐車された場合、ドクターヘリ着陸時には場所により移動をお願いすることがありますのでご協力をお願いいたします。

車いすドライバー・障がい者の方の 専用駐車スペースのご案内

車いす使用者など身体の不自由な方の専用駐車スペース(赤表示部分)を、第1駐車場に14台、第4駐車場に12台分設置しております。

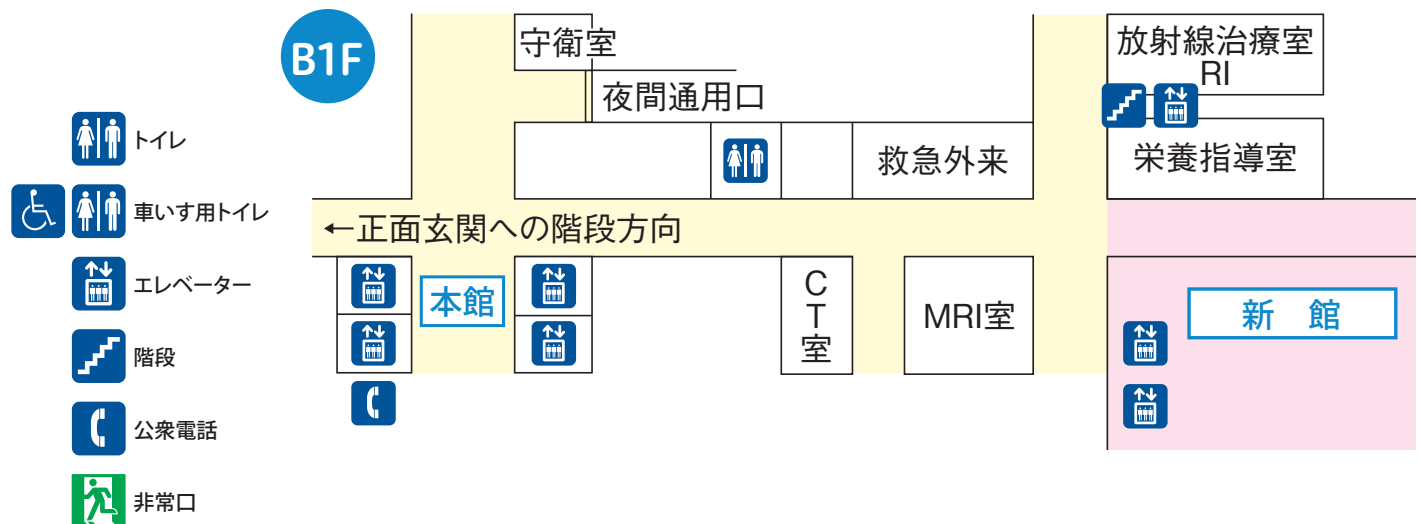


◆ 病院案内図

1F



B1F



◆各階案内

7F

● 7階病棟
(701～720)
(721～740)

6F

● 6階病棟
(600～611)
(650～658)

5F

分からないことが
ございましたら
お近くのスタッフまで
お気軽にお声かけください

● SCU病棟
● 5階病棟
(503～511)
(550～561)

4F

- 総合内科
- 脳卒中内科
- 脳神経外科
- 消化器内科
- スポーツ整形外科
- 泌尿器科
- 婦人科
- 呼吸器内科
- 脳神経内科
- 糖尿病内科
- 外科
- 眼科
- 小児科
- 脳血管内治療科
- 循環器内科
- 心臓血管外科
- 整形外科
- 呼吸器外科
- 歯科・歯科口腔外科
- 化学療法科

● 4階病棟
(400～411)
(450～461)

3F

● 3階病棟
(350～359)

● 新3病棟
(370～382)

2F

- 作業療法室
- 言語療法室
- 心理判定室
- 院内学級

- 麻酔科
- 手術室
- HCU病棟

- 第2病棟
(たいていよう)
(200～208)
- 透析室
- 結石破砕室

- HCU控室
- 理髪室

● 新2病棟
(270～284)

1F

● 理学療法室
(体育館)

- 形成外科
- 皮膚科
- 精神・神経科
- 緩和ケア科
- 免疫内科
- 腎臓内科
- 耳鼻咽喉科
- リハビリテーション科

- 臨床検査科
- 病理診断科
- 臨床検査部
- 診療放射線部

- 中央採血室
- 健康管理センター
- 心電図室
- 超音波室
- 内視鏡センター
- 化学療法室

- 正面玄関
- コンビニエンスストア
- 入院受付
- 文書受付
- 医事課
- 医療相談室

● 新1病棟
(170～185)

B1F

- 守衛室
- 中央監視室
- 薬剤部

- 放射線科
- 放射線治療室
- RI検査

- 救急外来
- CT・MRI
- 血管撮影室

● 栄養相談室

第1外来棟

第2外来棟

第1診療棟

第2診療棟

本館

新館

※本館詳細は前ページの1階案内図をご覧ください。

◆アクセス



電車をご利用の方

- ★大阪、京都方面から
京阪電車本線「枚方市駅」乗り換え、交野線「宮之阪駅」下車、徒歩約15分
- ★私市方面から
京阪電車交野線「星ヶ丘駅」下車、徒歩約15分

バスをご利用の方

- ★「京阪枚方市駅南口」バス停61番経路のりば発、
星ヶ丘医療センターゆき「星ヶ丘医療センター」下車(所要時間約15分)

タクシーをご利用の方

- ★「京阪枚方市駅南口」から病院まで約2km(所要時間約10分)

概要

- **病院名**
独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)
星ヶ丘医療センター
- **創立・移管**
昭和28年1月健康保険星ヶ丘病院として設立。昭和43年1月
星ヶ丘厚生年金病院となり、平成26年4月名称を独立行政法人
地域医療機能推進機構(JCHO)星ヶ丘医療センターに変更。
- **施設認定**
地域医療支援病院、臨床研修指定病院(基幹型)、救急告示病院
エイズ診療拠点病院、災害医療協力病院、
臓器提供施設、大阪府がん診療拠点病院
日本医療機能評価機構認定病院(3rdG:Ver.1.1)、DPC 対象病院
プレアボイド報告施設、NST(栄養サポートチーム)稼働施設
- **病床数**
580床
- **入院時の食事に関する事項**
当院による食事の提供は、管理栄養士によって管理された食
事を随時適温で提供しています。一部選択メニューを取り入
れております。
- **診療科**
総合内科、脳卒中内科、糖尿病内科、腎臓内科、緩和ケア科
化学療法科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、婦人科
精神・神経科、脳神経内科、小児科、外科、整形外科
スポーツ整形外科、形成外科、脳神経外科、脳血管内治療科
呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科
リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科・歯科口腔外科
臨床検査科、病理診断科、救急科、心臓血管外科、免疫内科
- **センター部門**
脳卒中センター、消化器病センター、内視鏡センター
呼吸器病センター、不整脈センター、
がんMDT(多分野横断チーム医療)センター
地域包括ケア推進センター、健康管理センター
- **特別施設**
緩和ケア医療、脳卒中ケアユニット(SCU)、結石破碎装置(ESWL)
人工透析室、CT室、MRI室、血管撮影室、核医学検査室
放射線治療室、多機能リハビリテーション施設、内視鏡診断室
超音波診断室、院内学級(桜丘北小学校、桜丘中学校)
訪問看護ステーション
- **健康診断**
全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診
一般健診、一日ドック、半日ドック、脳ドック、枚方市民検診
特定健診、特定保健指導、予防接種、乳児健診、各企業健診等
- **診察受付時間**
月曜日～金曜日 午前8時30分～午前11時30分
- **外来診療時間**
月曜日～金曜日 午前9時00分～午後5時00分
- **休診日**
土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始(12月29日～1月3日)
- **院内活動**
糖尿病教室、高血圧教室、
栄養指導、薬剤管理指導、看護専門外来、禁煙外来

JCHO(ジェイコー)とは…

平成26年4月より新しく発足した「独立行政法人地域医療機能推進機構(Japan Community Health care Organization)」の略称です。当院はJCHOの病院グループとして地域医療に貢献できるよう、さらに邁進していきます。



お問い合わせ



独立行政法人 地域医療機能推進機構

星ヶ丘医療センター

〒573-8511 大阪府枚方市星丘4-8-1
E-mail: info@hoshigaoka.jcho.go.jp



日本医療機能評価機構認定病院 (3rd G:Ver.1.1)

TEL:072-840-2641 (代表) FAX:072-840-2266
<https://hoshigaoka.jcho.go.jp>